

(様式第8号)

事業報告書 (平成 29 年度)

事業名 「一人の百歩より 百人の一歩」プロジェクト

団体名 岡山県立高松農業高等学校「高農環境を考える会」 担当者名 坪 弘 文

※活動の様子がわかる写真（データもお願いします）と説明を必ず添付してください。

1. 活動内容（日時、場所、参加対象者、人数、内容等）

①スイゲンゼニタナゴ生息環境保全事業(用水路の清掃)

| | | |
|----------------|--------|---------------|
| 5月 7日(日) 8:00~ | 高縄手用水路 | 生徒3名参加 |
| 9月17日(日) 8:00~ | 高縄手用水路 | 台風18号の影響により中止 |

②近隣小学校との環境交流学习

加茂小学校4年生と「調べよう加茂の環境を」をテーマに環境交流学习を実施

| | | |
|-----------|---------------|---------|
| 6月 5日(月) | 交流学习打ち合わせ | 生徒 3名参加 |
| 6月27日(火) | 足守川の水質調査 | 生徒18名参加 |
| 7月11日(火) | 水生生物について | 生徒16名参加 |
| 9月 6日(水) | 水生生物について | 生徒18名参加 |
| 10月 3日(火) | 足守川の水質調査 | 生徒19名参加 |
| 11月29日(水) | 交流学习発表会・意見交換会 | 生徒19名参加 |

③公民館との連携

| | | |
|----------|-------------|----|
| 7月30日(日) | 高松公民館「水辺教室」 | 中止 |
|----------|-------------|----|

④パネル等による活動発表

| | | |
|----------------|-------------------------|---------|
| 6月15(木)・16日(金) | 農業クラブプロジェクト発表県大会(勝間田高校) | 生徒3名 発表 |
|----------------|-------------------------|---------|

| | | |
|-----------|------------------|----|
| 10月22日(日) | 高松まほろば祭り(高松城址公園) | 中止 |
|-----------|------------------|----|

| | | |
|-----------|----------------|--------|
| 11月 5日(日) | まちはなフェア(下石井公園) | 生徒2名参加 |
| | 活動紹介パネル・ミニ水族館 | |

| |
|---|
| <p>2. ESDの視点を取り入れたところ、ESDの視点で見直したところ</p> <ul style="list-style-type: none">・自分で感じ、考え、行動する力 展示内容やブースのレイアウトを考え、積極的に行動することができた。 (ブース内でのアンケート、さらにブース外に足を運びイベントに参加された方へのアンケート活動・広報活動を積極的に行うことができた。)・気持ちや考えを伝えあい表現する力 加茂小学校4年生と「調べよう加茂の環境を」をテーマに、足守川の水環境調査を行うことで、お互いの考えや気持ちを交流する事ができていた。・他者と協力して物事を進める力 地域の方、専門家の方から「スイゲンゼニタナゴ」の保護や生息環境保全の方法の指導を受けた。 |
| <p>3. 取組の成果(参加者にどのような意識や行動の教育上の成果があったか。感想など)</p> <ul style="list-style-type: none">・スイゲンゼニタナゴを繁殖・保護することを通して、身近な環境を見つめ直すことができた。・コミュニケーションが苦手な生徒が多いが、活動に参加した生徒は活動発表やアンケート活動を通してコミュニケーションの取り方を学習できたと思う。生徒を主とした活動場面を増やしていきたいと思った。・水質調査や校内ビオトープの環境調査などを通して、調査の方法や調査結果をまとめ、考察する力が身に付いたと思う。・小学生に教えることで同じ目線で見つめ、考えることができた。・日常で取り組んでいる内容や結果を小学生に伝えることで、自分たちの学習が深化し、活動への理解や自信が深まった。 |
| <p>4. 今後の課題と展望</p> <ul style="list-style-type: none">・積極的に活動内容の発表やパネル展示の場に参加した。今後は、高松地区に希少な生物がいること、高松農業高等学校が希少な生物を保護・繁殖をしていることを広範囲に発信していきたい。・地域の方や環境保全・保護活動を実施されている団体と「高農環境を考える会」の連携を図り、ネットワークを拡大し情報交換を実施したい。・夏休みなどの長期休業中を活用し「高農水辺教室」、出前講座などを定期的で開催し、多くの子どもたちに地域の自然に触れてもらいたい。 |